

# 温泉の成分・禁忌症・適応症

## 【成分】

源 泉 名	混合泉 (堂ヶ島温泉1号井・2号井)		
泉 質	カルシウム・ナトリウム-硫酸塩泉 (低張性・アルカリ性・高温泉)		
泉 温	源泉 57.2 °C		
温 泉 の 成 分			
水素イオン濃度(PH)	8.90		
蒸発残留物 (g/kg)	2.433		
陽イオン(mg/kg)			
ナトリウムイオン	258.8	カリウムイオン	5.6
マグネシウムイオン	0.1	カルシウムイオン	428.1
ストロンチウムイオン	2.2	鉄イオン	0.8
		計	695.6
陰イオン(mg/kg)			
フッ素イオン	0.4	塩素イオン	70.7
炭酸イオン	6.0	硫酸イオン	1,484.0
炭酸水素イオン	7.3		
		計	1,568
非解離成分(mg/kg)			
メタケイ酸	45.2	メタホウ酸	2.0
		計	47.2
溶存ガス成分(mg/kg)			
成分総計	2.311 g/kg		
その他微量成分(mg/kg)			
第一鉄イオン	0.05	ヨウ素イオン	0.04
水銀イオン	0.043	総ヒ素	0.03
リチウムイオン	0.06	亜鉛イオン	0.082

温泉の分析年月日

調査及び試験 平成 6年11月22日

分析終了 平成 6年12月13日

分析機関名

財団法人静岡県生活科学検査センター

## 【禁忌症・適応症】

### 1 禁忌症 (浴用)

急性疾患 (特に熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、心臓病 (ただし高温浴 (42°C以上) の場合)、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、高度の動脈硬化症 (ただし高温浴の場合)、高血圧症 (ただし高温浴の場合)、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中 (とくに初期と末期)

### 2 適応症 (浴用)

#### (1) 一般的適応症

神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え症、病後回復期、疲労回復、健康増進

#### (2) 泉質別適応症

きりきず、やけど、慢性皮膚病、動脈硬化症

### 3 浴用上の注意

(1) 温泉療養については、温泉について専門的知識を要する医師の指導を受けることが望ましい。

(a) 温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数を1日当たり1回程度とし、その後は1日当たり2回ないし3回までとすること。

(b) 温泉療養のための必要期間は、おおむね2ないし3週間とし、湯あたりが現われたら、症状が回復するまで入浴回数を減じ又は入浴を中止すること。

(2) 入浴時間は、入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分程度とし、慣れるに従って延長してもよい。

(3) 入浴中は一般には安静を守り、入浴後は湯冷めに注意して一定の時間の安静を守る。

(4) 入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さない。(湯ただれを起こしやすい人は、真水で身体を洗うか、温泉成分を拭き取るのがよい。)

(5) 熱い温泉に急に入るとめまい等を起こすことがあるので、身体にかけ湯をしてから入浴する等、十分注意する。

(6) 食事の直前・直後の入浴は避けることが望ましい。

(7) 飲酒しての入浴は特に注意する。

### 4 禁忌症又は適応症の決定年月日

平成 7年12月26日

### 5 決定者

静岡県下田保健所長 宮本秀樹

